



ユネスコ・アジア文化センター文化遺産に関する国際会議

博物館と地域社会



写真：(左) 京都府京都文化博物館、(右上)：ジョージタウン（マレーシア）、(右下)：カンボジア国立博物館

日時：令和 2 年 12 月 22 日（火） 14：00～16：00 **参加費無料・事前申込必要**

基調講演（動画配信）

【ICOM 京都大会の成果と今後の課題ーこれからの博物館に求められるすがたー】

栗原祐司氏（京都国立博物館 副館長）

総合討議（動画配信）

【博物館が地域社会に果たす役割】

コメンテーター：栗原祐司氏、田代亜紀子氏、村野正景氏、吉村和昭氏（奈良県立橿原考古学研究所企画学芸部 学芸課長）

事例報告（資料配信）

【博物館と観光を再考するーアジア各国の事例からー】

田代亜紀子氏（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授）

【京都文化博物館と地域コミュニティーまちづくりを担う博物館ー】

村野正景氏（京都府京都文化博物館 学芸員）

【各国の実情と課題】

（カンボジア、中国、マレーシア、ネパール、スリランカ、ウズベキスタン）

博物館と地域社会

博物館が地域社会の発展に大きく貢献することは、昨年、京都で開催された「ICOM 京都大会」でも大きく取り上げられ議論されました。今や博物館は、文化・教育のみならず、地域経済や地域再生への寄与など、地域発展への多方面の貢献が期待されています。そこで、今回の会議では、「博物館」が「地域社会」の中で果たす役割やその可能性、そこで生じる様々な課題やアイデアについて、アジア各国の担当者間で相互に意見し、情報を共有する機会を持ちたいと思います。今回の会議では、アジア地域各国において文化遺産の保護に関わる実務担当者6名と、日本の専門家の方々などを交えた情報・意見交換を通じて、当該分野の指導者養成に寄与するとともに、文化遺産保護国際協力事業における多国間ネットワークの構築を目的として開催するものです。

プログラム

同時通訳有

令和2年12月22日(火)

14:00 開会あいさつ

森本 晋 (公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長)

14:10 基調講演「ICOM 京都大会の成果と今後の課題—これからの博物館に求められるすがた—」

栗原 祐司氏 (京都国立博物館 副館長)

14:40 休憩

14:50 総合討議「博物館が地域社会に果たす役割」

コメンテーター：栗原 祐司氏 (京都国立博物館 副館長)

田代 亜紀子氏 (北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授)

村野 正景氏 (京都府京都文化博物館 学芸員)

吉村 和昭氏 (奈良県立橿原考古学研究所企画学芸部 学芸課長)

参加者：アジア各国からの参加者 (カンボジア、中国、マレーシア、ネパール、スリランカ、ウズベキスタン)

16:00 閉会

配布資料

「アジア各国における事例報告」

事例報告 1 日本 (田代亜紀子氏：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授)

「博物館と観光を再考する—アジア各国の事例から—」

事例報告 2 日本 (村野正景氏：京都府京都文化博物館 学芸員)

「京都文化博物館と地域コミュニティ—まちづくりを担う博物館—」

事例報告 3 カンボジア (チャブ・ソフィアラ氏：カンボジア国立博物館教育・出版室 室長代理)

「カンボジア国立博物館における地域連携の課題と展望」

事例報告 4 中国 (レン・フーシン氏：地湄侗族人文生態博物館 館長)

「地湄侗族人文生態博物館における地域連携」

事例報告 5 マレーシア (アン・ミン・チー氏：ジョージタウン世界遺産公社 ジェネラルマネージャー)

「中央消防署の展示施設：マレーシアの世界遺産都市ジョージタウン」

事例報告 6 ネパール (カナル・サンディーブ氏：ハヌマンドカ王宮博物館 館長)

「パタン博物館と地域コミュニティ」

事例報告 7 スリランカ (ジュード・ニラン・コーレン氏：スリランカイコモス国内委員会 書記官)

「スリランカの博物館と地域コミュニティ」

事例報告 8 ウズベキスタン (オタバック・アリプトジャノフ氏：ウズベキスタン国立歴史博物館 副館長)

「文化遺産保護の中心的役割を担うウズベキスタン国立博物館」

《日時》 令和2年12月22日(火) 14:00～16:00

《会場》 オンラインによる開催

《定員》 80名(先着順。定員に達した時点で締め切りといたします)

《申込方法》 下記メールアドレスからお申込みください。

Eメール：accusymp-admin@convention.co.jp 「件名：2020 国際会議申し込み」

①氏名(ふりがな) ②ご所属 ③連絡先メールアドレス ④この会議を何で知ったか

《締切日》 令和2年12月18日(金)

《問い合わせ先》 Eメール：accusymp-admin@convention.co.jp 電話：0742-20-5001